

各 位

令和 6 年度稲作情報 第 5 号について

このことについて送付しますので、業務および水稻栽培の参考にしてください。

令和 6 年度 稲作情報 第 5 号

唐津農林事務所 東松浦農業振興センター長

1. 気象概況(観測点:唐津アメダスデータ)

※表記方法:6 半旬別(1ヶ月を 6 分割。1 半旬は 1~5 日となります。)

気温:平均 降水量・日照時間:合計

※平年値:平成 22 年~令和 2 年(11 年)の平均値

月	半旬	平均気温 (°C)		最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		平年	R6	平年	R6	平年	R6	平年	R6	平年	R6
5	1	17.4	17.8	22.4	21.9	12.8	14.1	20.1	4.5	35.5	32.5
	2	18.1	17.1	23.1	22.2	13.6	13.4	24.4	11.0	35.0	20.4
	3	18.8	18.5	23.7	23.5	14.3	13.4	26.1	37.5	35.1	40.3
	4	19.4	19.3	24.3	26.4	15.0	12.9	22.2	0.5	35.5	59.0
	5	19.9	20.2	24.8	25.4	15.7	17.0	17.8	0.0	34.0	28.2
	6	20.4	19.7	25.0	25.2	16.5	14.9	18.5	87.5	37.1	30.3
6	1	20.9	19.4	25.2	24.8	17.3	15.5	18.2	0.0	27.3	47.5
	2	21.4	21.5	25.4	26.6	18.2	18.4	27.2	20.0	24.5	21.7

6 月 1 半旬の気温はやや低く、その後平年並みで推移した。6 月 1 半旬は降雨がなく、晴天が多かったため、日照時間は平年の 1.7 倍と長かった。6 月 2 半旬の降水量は平年の 7 割程度と少なかったものの、曇天の日が多く、日照時間は平年より短かった。

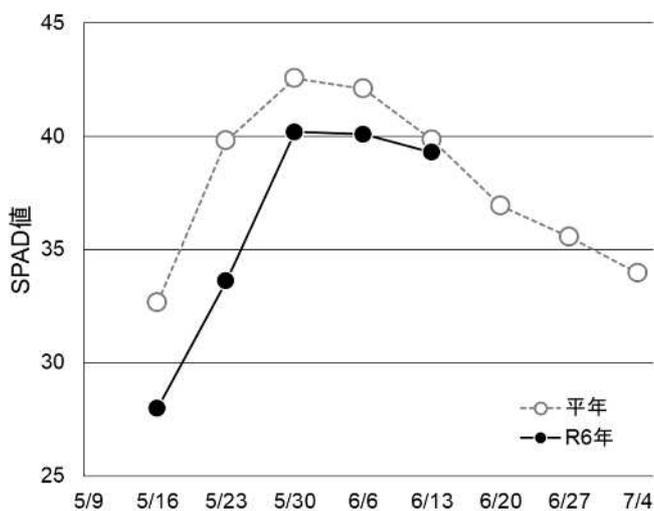
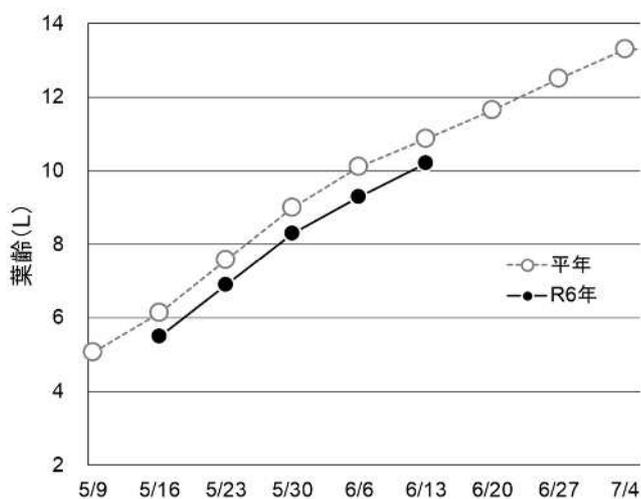
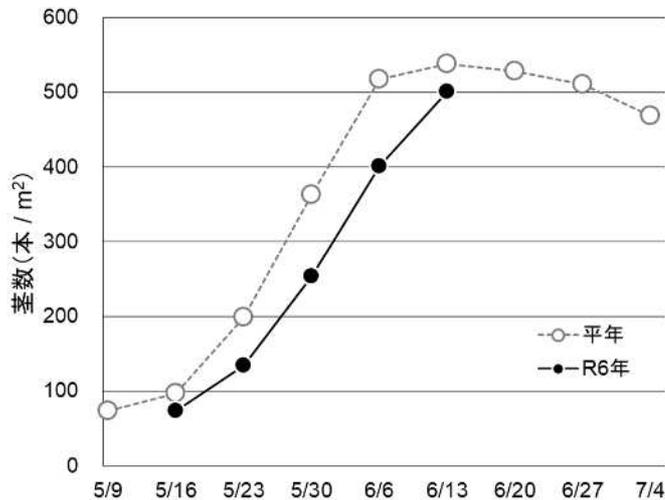
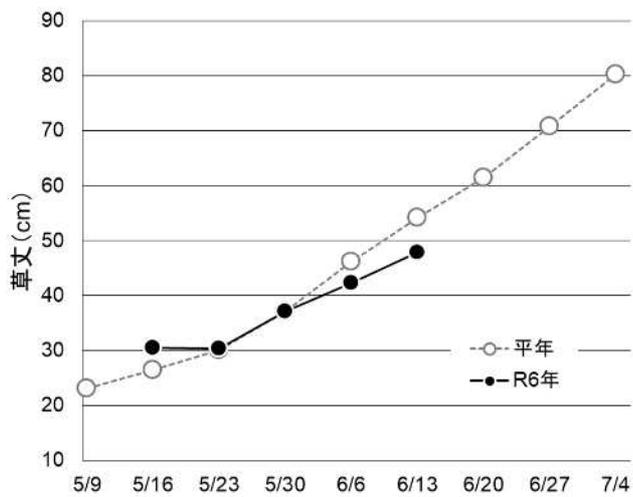
2. 生育状況

上場コシヒカリ情報田調査結果 鎮西町潟 4 月 25 日移植 17.0 株/m²(56 株/坪)

(6月11日調査結果)

項目	本年	前年	平年	前年比・差	平年比・差	備考
草丈(cm)	47.9	56.7	54.2	85	88	低い
茎数(本/m ²)	501	487	538	103	93	やや少ない
葉齢(L)	10.2	11.2	10.9	-1.0	-0.7	遅い
葉色(SPAD)	39.3	40.5	39.8	-1.2	-0.5	平年並み
葉色(葉色板)	3.6	3.3	3.6	0.3	0.0	平年並み

※平年値:平成29年~令和5年までの値から最高・最低値を除いた平均値



草丈は平年の9割程度と低い。葉齢は依然として平年より遅く推移しているが、茎数は前回(6月5日)の調査から60本/m²近く増え、平年の9割程度まで回復した。葉色はほぼ横ばいで推移している。

3. 今後の管理について

(1) 有効茎が確保された圃場では中干しに移行する。

- ・4 月中に移植された圃場では有効茎が確保されていますので中干しに移行してください。中干し開始の目安は、1 株あたり 20～25 本の分けつ茎が確保され、株が開張して圃場の半分から奥の株間が見えなくなり出した頃です。5 月上旬以降に移植され、有効茎が確保された圃場は中干しに移りましょう。
- ・中干しは田面に軽い亀裂が入り、足を踏み入れれば足跡がわずかに付く程度に行ってください。降雨が連続する場合は水尻を開けて落水管理としてください。
- ・中干し後は間断灌水とします。幼穂形成期～穂ばらみ期は水を必要とするため、白乾状態とならないように注意してください。

(2) イネクロカメムシやいもち病が見られる圃場では薬剤防除を行う。

- ・一部の圃場でイネクロカメムシが多発し、吸汁による生育抑制が見られます。イネクロカメムシが見られる圃場ではスタークル粒剤を散布してください。
- ・曇雨天が続くといもち病が発生しやすくなります。常襲田では田回りを行い発生に注意してください。いもち病が発生した場合はオリブライト粒剤を散布してください。また補植用の置き苗はいもち病の発生源になるので早急に処分してください。



イネクロカメムシ

(3) 施肥管理

- ・下位節間(第4節間)の伸長は出穂 23 日前頃から始まり、18 日前頃に最盛期となります。この時期に穂肥を施用すると節間伸長が助長され倒伏のおそれがあります。「コシヒカリ」のような倒伏に弱い品種は、この時期を経過した出穂 16～18 日前が穂肥施用時期です。

(参考:情報田平年値)

移植期:4月23日 出穂期:7月10日 穂肥施用時期:6月22～24日

※圃場毎に生育ステージ・葉色・生育量が異なるため、下記穂肥診断基準を目安に穂肥施用時期と施用量を決定してください。

コシヒカリの出穂前日数と幼穂長の関係

出穂前日数	26	23	20	18	15	12
幼穂形成始期からの日数	0	0～3	3～6	6～8	8～11	11～14
幼穂長(mm)	1	1～3	8～12	15～20	25～30	30～
草丈(cm)	～72	～75	～78	～80	～83	83～
穂肥施用時期				←————→		

※幼穂長15～20 mmの時(出穂18日前頃)が穂肥施用時期。

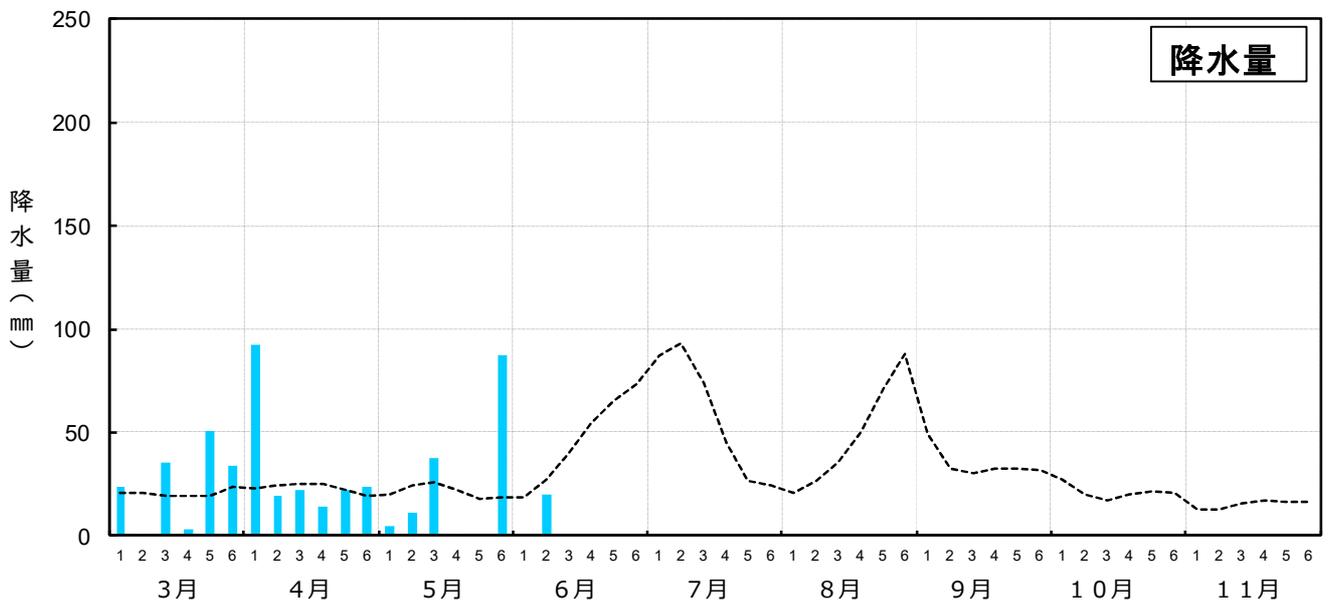
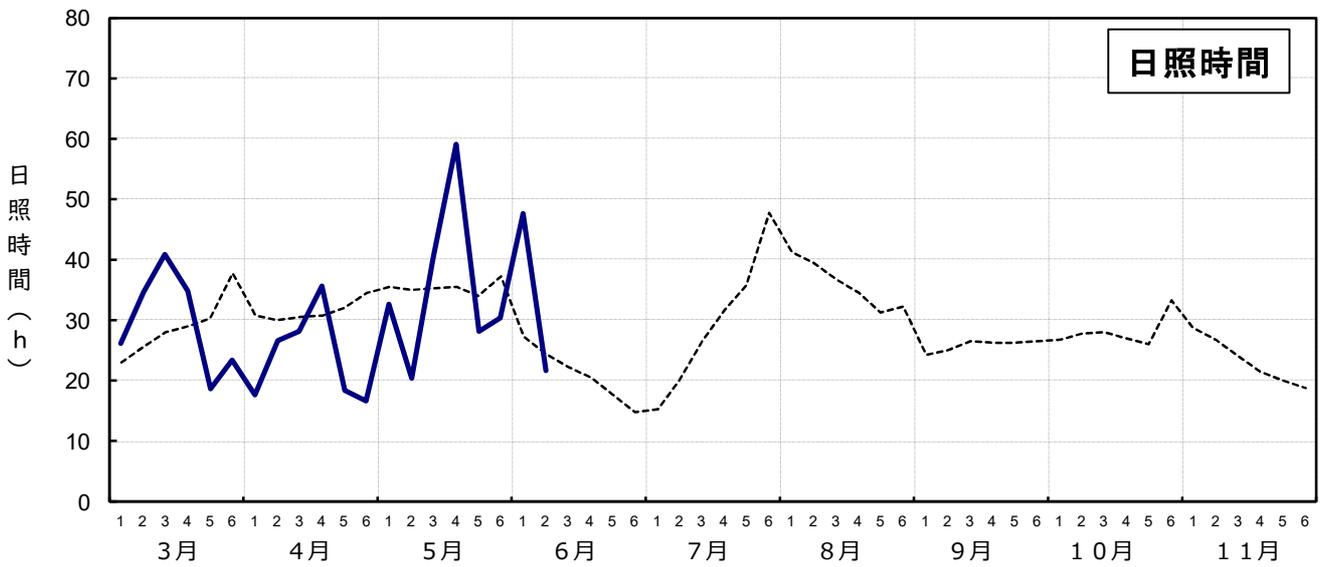
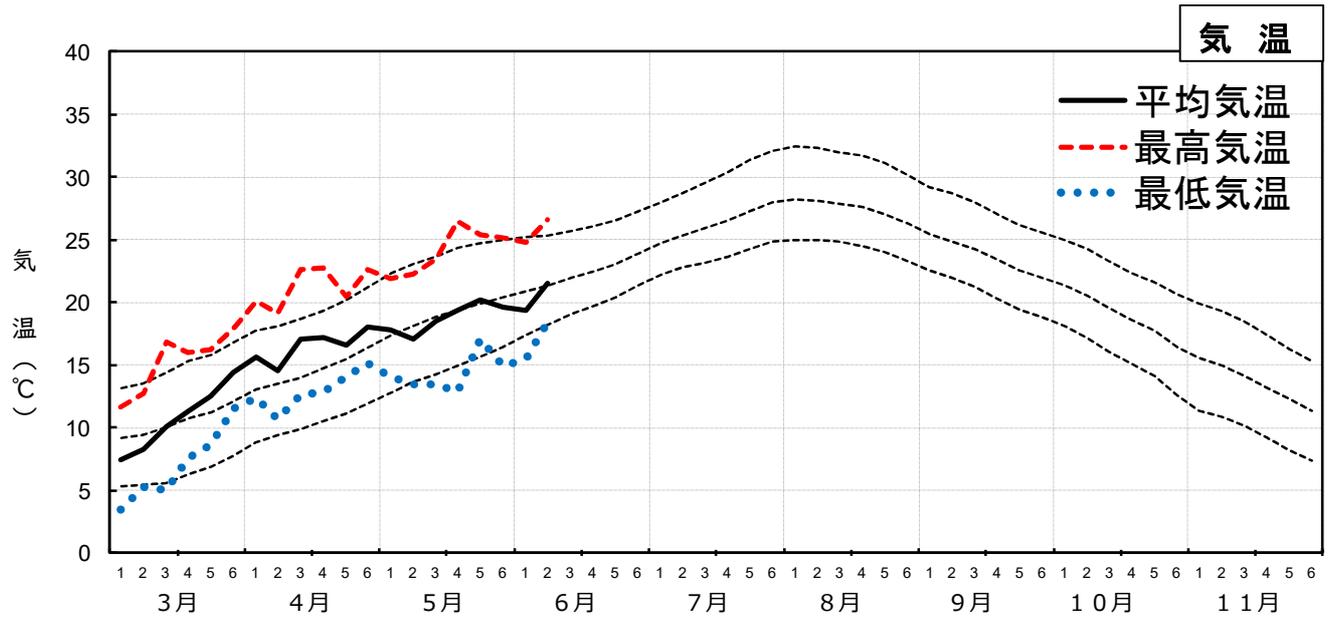
穂肥診断をした時の幼穂長が1 mmの場合、その5日後に穂肥を施用する。

コシヒカリ穂肥診断基準(穂肥施用時)

葉色	葉色板		SPAD (値)	幼穂長 (mm)	出穂前 日数	施用量 有機入りBB454
	群落	単葉				
薄い	～3.0	～3.5	～34.0	2	24～25	15 kg/10a
	3.0～3.3	3.5～3.8	34.0～36.0	5	22	
標準	3.3～3.7	3.8～4.2	36.0～39.5	15	18	7～10 kg/10a
濃い	3.7～	4.2～	39.5～	15～	～18	施用しない

※穂肥施用時期の葉色(SPAD)が36.0～39.5、草丈が80 cm以下であれば、有機入りBB454を10 kg/10a施用する。

令和6年産 水稲作付期間気象図 アメダス観測値(唐津)



注) 平年値: 平成22年~令和2年の平均値